



少子化の進行を防ぐため子育て支援は重要な課題です（すすく広場から）



佐藤忠暉議員

## 福祉行政

# 子育て支援に本腰を

## 財政負担上難しい

**質問** 十七年の山田町の出生数が百二十九人だとい

う。このままの状態だと山田町の行く末が案じられる現在、町はもっと子育て支援に本腰を入れる必要がある。そこで次の事を問う。

- ① 出産育児一時金の給付拡大を行ってはどうか。
- ② 第二子以降の保育料を無料化にしてはどうか。
- ③ 町内の幼稚園・保育園の

全園で、午後六時三十分まで預かってはどうか。

- ④ 小学六年生まで医療費を無料化にしてはどうか。

### 沼崎町長

- ① 国保では現在三十万円を給付しているが、本年十月から三十五万円に拡充されることになっている。

- ② 現在保育料の軽減として同一年に同じ家庭の児童が二人入所した場合、第

二子の保育料は半額、三人同時の入所の場合は、第三子の保育料を無料としている。

第二子以降の保育料の無料化は、多額の財政負担が必要であり難しい。

- ③ 全ての施設で午後六時三十分までの保育となると、費用負担などで難しい。

- ④ 現在医療費自己負担の軽減対象は三歳未満まで。

## 教育行政

# 学校給食の実施

## 弁当に感謝の心を

### 質問

三月末までに岩手県内の市町村の数は三十五になるが、小中学校の学校給食を実施していないのは山田町だけだと聞く。

以前の議会で学校給食を実施してはどうか、という

質問に教育長は「第八次総合発展計画に盛り込むかは、平成十六年度から始まる計画策定にあたっての意見などを参考に検討したい」との答弁だった。

その日から二年たつが、



昼食時間に手作りお弁当を広げる大沢小児童

学校給食の件はどのような進展をみせているか問う。

### 松尾教育長

まちづくり委員会では、「弁当は、母親の負担や経済的負担が大きい」、「母親が忙しいから給食というのはいかがか。学校給食は教育の一環である」、「絶対、弁当の方が経済的負担が少ない」との意見があったようだ。

従って教育委員会としては従来どおり、保護者がつくった弁当に子供達が感謝の気持ちを持ってもらうことを大事にしたい。